

『人と鉄との物語』



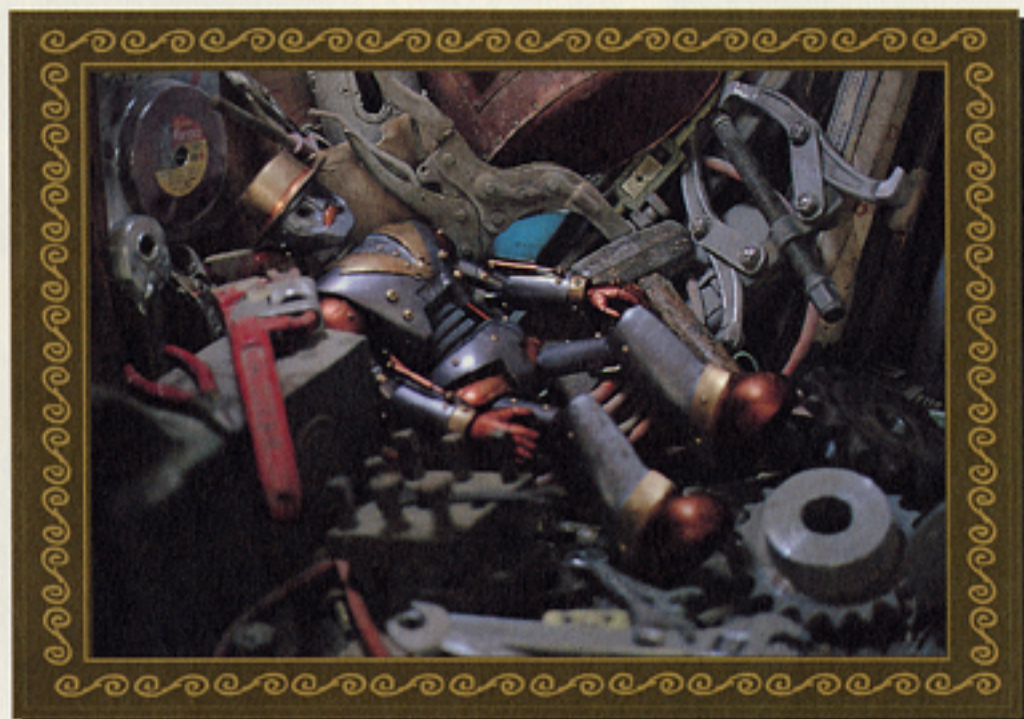
絵物語で綴る神戸鉄工団地の過去、現在、未来

神戸鉄工団地協同組合



そのむかし、金属加工技術者は、人々から羨望と尊敬の念をこめ、
『工師』と呼ばれていました。

prologue



わたし「鉄朗」もそんな工師の一人が手なぐさみに
こしらえたロボットですが、工具置き場に放置され、
今ではだれ一人として気にとめることもありません。
…しかし、私はふたたび目覚めなくてはならないよ
うです。
ぜひ、人々に伝えておきたいことがあるからです。

焼け跡からの再生

1945年、太平洋戦争が終ると、日本中の町はめちゃくちゃに破壊され、人々の住む家や、毎日使う道具を作る工場さえも満足に残っていなかった。

けれど、残った人々は壊れた機械を修理したり、外国から機械を輸入して、少しずつ工場を建てなおしはじめた。

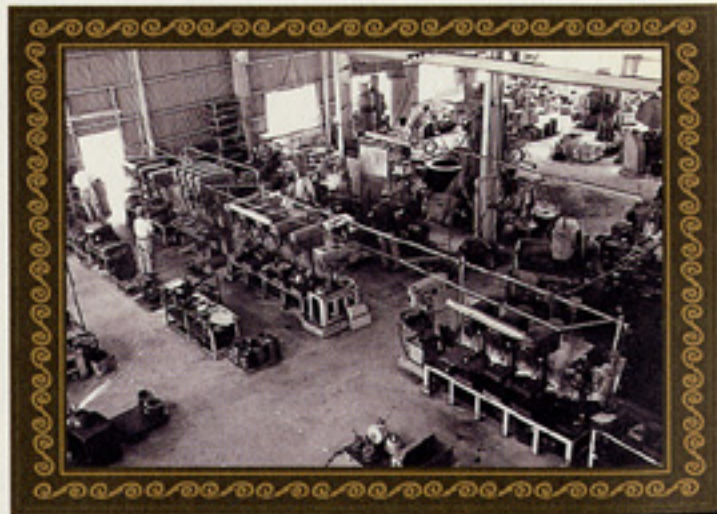


その5年後、朝鮮戦争によって大量の兵器や道具が必要となり、アメリカ軍は、その一部の製造を日本の工場に依頼するようになった。

この時、日本の工場はどんどん多くなり、また、そこで働く人々の数も増えていった。

さらに5年後、日本の経済は完全に立ち直り、日本人の暮らしはますます豊かになっていった。

人々により豊かな生活を送ってもらうため、家や電気製品、自動車などを作る会社ができ、それらの部品を作る工場はとて忙しくなった。



神戸鉄工団地の誕生

色々な機械やその部品を作るのに忙しくなった工場だが、それにつれて困った問題も起こってきた。せまい町の中で機械を動かしたり、塗料や薬品を使うため、色々な「公害」が発生し、周囲の人々に迷惑をかけてしまったんだ。また、工場も小さいため、大きなものを作ったり、一度にたくさんの部品をつくることもむずかしい。そこで、町から少しはなれた広い場所に、いくつもの工場がまとめて引っ越すことになった。



建設中の工場



神戸鉄工団地の全景

それが、今私のいる「神戸鉄工団地」だ。当時神戸の町で工場を経営していた人たちが、まわりの工場にも呼びかけ、団地建設の計画を立て、場所を探し、お金を集め、1967年、今の神戸鉄工団地の最初の形ができ上がった。最初の計画から実に3年以上、社長たちの大変な苦勞がやっと実ったんだ。

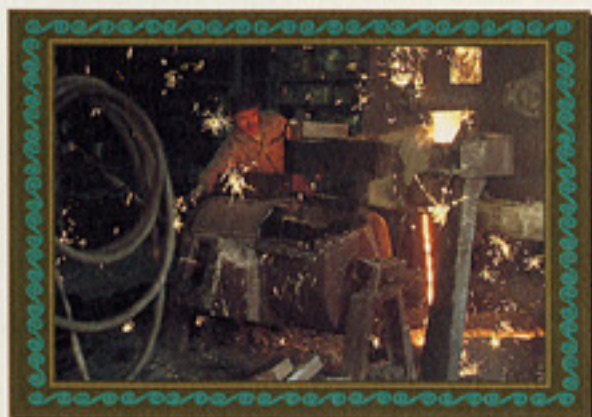


当時の組合売店

鉄の職人たち I

私は「プロ」の仕事を見ているのが大好きです。プロの仕事には無駄な動きがないからです。どうすることがもっとも効率よく安全なのか、そして何より、どうすることが良い製品を作り出すことになるのか、長い時間をかけ受け継がれ、つきつめられた結果生まれた「動き」だからです。機械油で、あるいはコークスのすすで汚れた職人の顔、しかしその表情から伝わってくる気迫は何にも増して私の心を打ちます。

人が何かを作り出すということは、こんなにも真剣で一途なことなんだと思い知らされるのです。ここではそんな職人たちの表情をご覧ください。



金属の鋳造



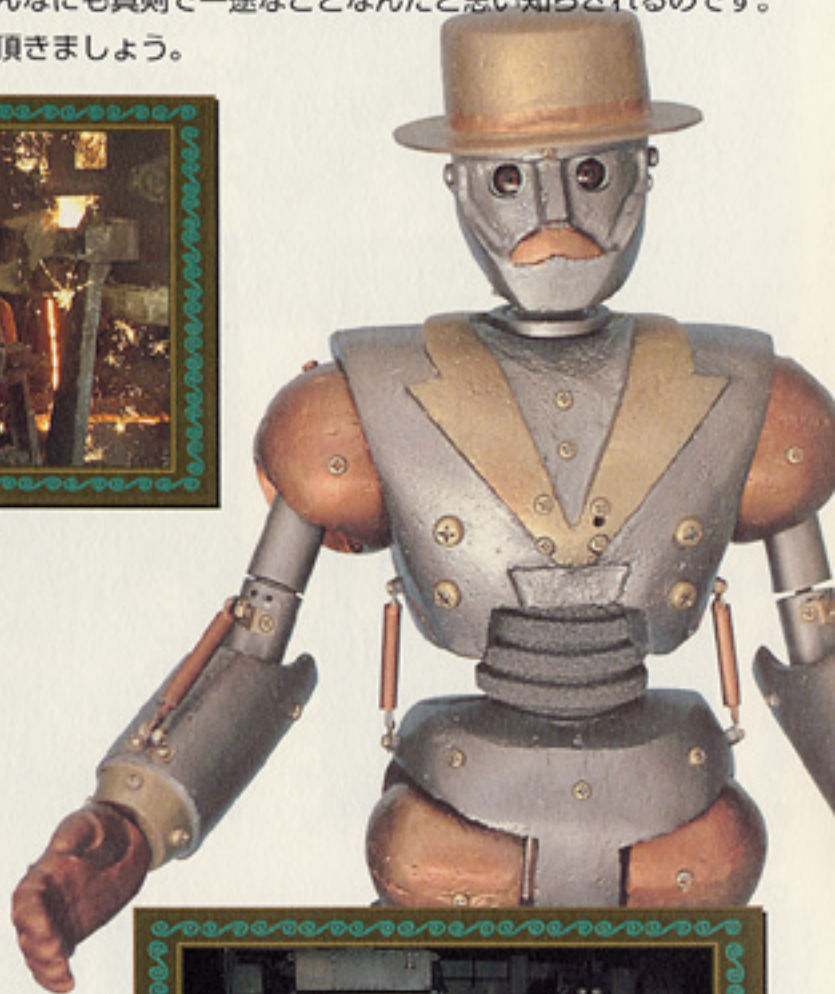
加工部品の仕上げ



自動加工機械のセッティング



職場の仲間たち

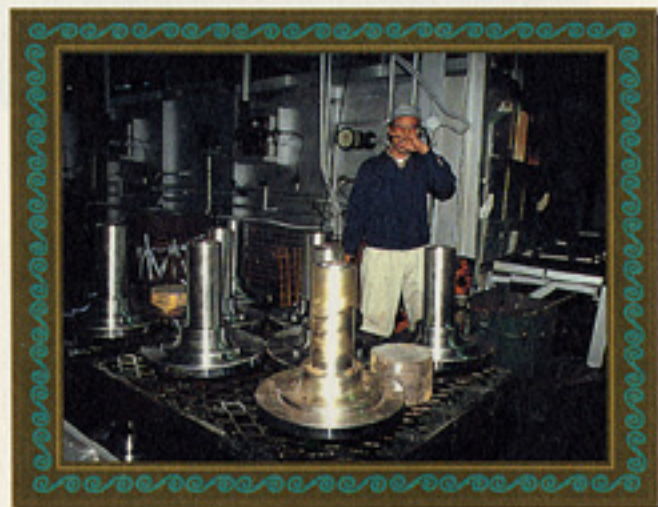




大型装置の溶接加工



鋼板のガス溶断



機械加工の現場



大型装置の組み立て技術者

職人たちには私たちの見えないものが見え、聞こえない音が聞こえます。普通の人にはわからない微妙な炎の色の違い、金属の表面の光沢、金属を削る工具の微妙な音の変化、あるいは機械の調子の変化を聞き分けるのです。それだけではありません。においや温度、持ったりさわったりした時の感触、あらゆる感覚で職人は、製品のでき具合や作業の状態を判断するのです。それが人の能力を超えた「職人の勘」というものなのでしょう。



大型装置の組み立て



自動化された工場内



経理事務処理



加工機械の制御プログラム



加工機械の調整



加工機械の調整、点検



加工機械

しかし、最近の工場はすいぶん様変わりしました。

自動化、量産化の要望に答えるコンピューター制御の工作機械の導入によるものです。

それにより、現在では求められる職人の技も少し変わってきました。

工作機械の特性や材料の特性を理解し、要求された内容を満たす製品や部品を効率よく生産するよう、的確に機械に指示を与える技能が要求されるようになったのです。

いわば現在は熟練した職人の勘とハイテク技術が共存している状態です。この先、この職人の技や勘もデータやプログラムに取ってかわられてしまうのでしょうか？



鉄の職人たちⅡ

神戸鉄工団地を支える「職人たち」は何もベテランの男性だけではありません。フレッシュな青年たちや、女性の活躍もなくてはならないものなのです。事務職やデリケートな製品の組み立てはもとより、現在では男性と同じように体力が必要な現場や、コンピューターを使った複雑な機械の操作でも女性の活躍が見られます。ここでは、そんな女性やフレッシュマンの姿をご紹介します。



機械加工のセッティング



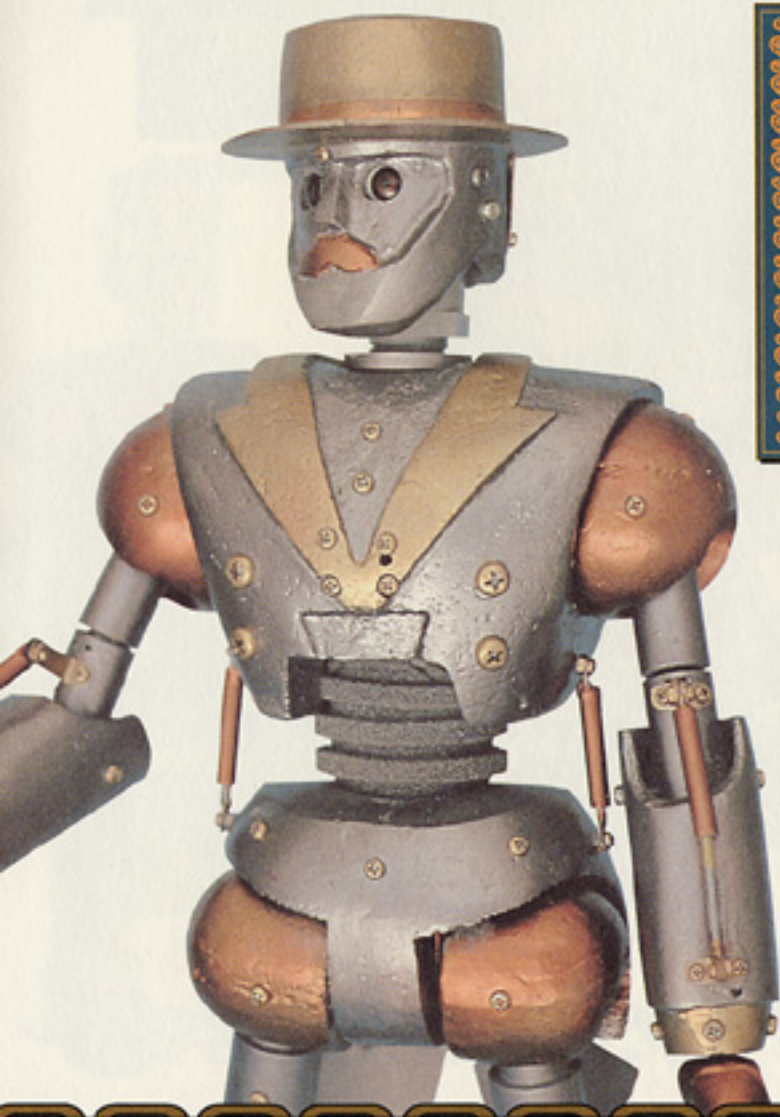
経理事務処理



機械装置の組み立て



電子部品の組み立て



よみがえる神戸鉄工団地

1995年1月17日 とんでもないことが起こった。

そう、あの「阪神淡路大震災」だ。

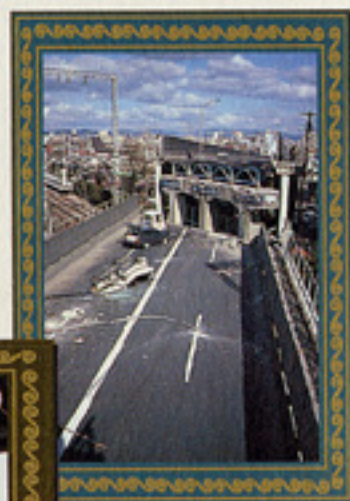
阪神、淡路地区を中心とした大きな地震によって、たくさんの家やビルがこわれ、多くの人が怪我をしたり、なくなったりしたんだ。

ここ、神戸鉄工団地のあちこちの工場でも柱が曲がり、壁がくずれ、機械が倒れたりした。でも、団地の人たちはそんなことにはめげず、工場や機械を修理し、被災地域の復興のため機械や部品を作り続けたんだ。



神戸市内の震災被害

団地内の工場の被害



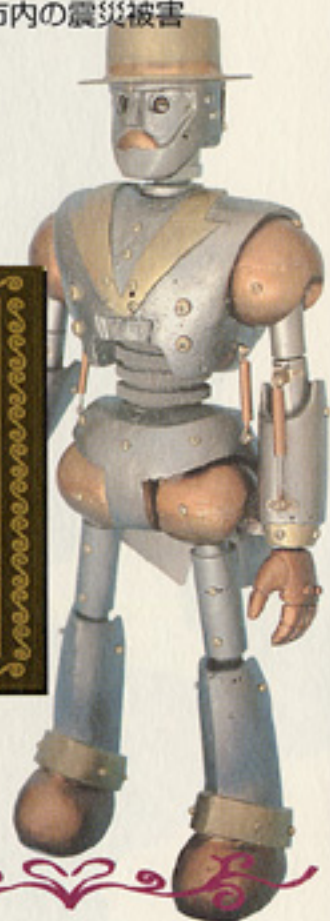
神戸市内の震災被害



団地内の工場で作った
コンテナ・クレーン



団地内の工場で作った
高架橋脚補強材



あすの神戸鉄工団地

神戸鉄工団地では、ここで働く人たちに、もっと快適に、もっと楽しく
すごしてもらうための環境づくりを考えているんだ。

それは、「働く場所」という限られた考え方ではなく、「くつろぐ」
「学ぶ」「健康になる」というような「生活」そのものに役立つ施設を
目指しているんだ。

福祉センターのロビー



レストランのような食堂



未来の神戸鉄工団地イメージ

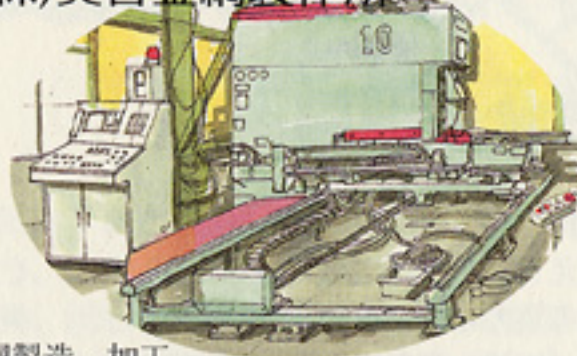


研修や娯楽に利用できる情報室



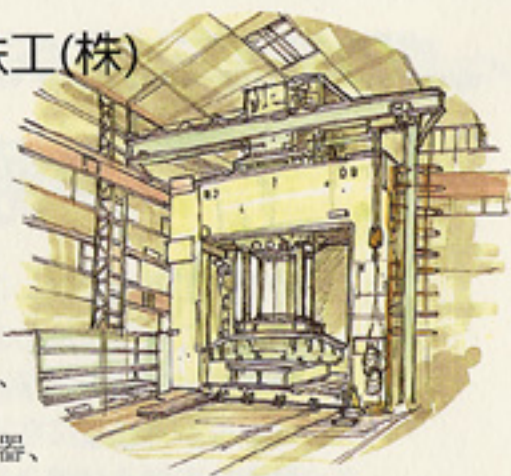
ゆったりとくつろげる喫茶室

03 (株)奥谷金網製作所



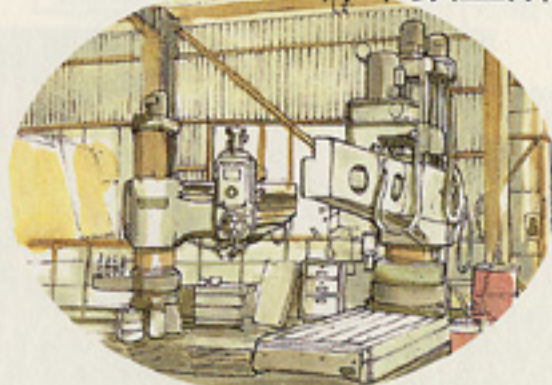
各種金網製造、加工
打抜金網、N.C.T.パンチング加工

02 淡路鉄工(株)



大型鉄鋼構造物、
プレス加工、
各種プラント機器、
大型製缶

04 神平鉄工所



建設機械、造船、車両部品の機械加工

05 神戸造機(株)

油圧機器
空圧機器 減速機器
船舶エンジン部品の
機械加工

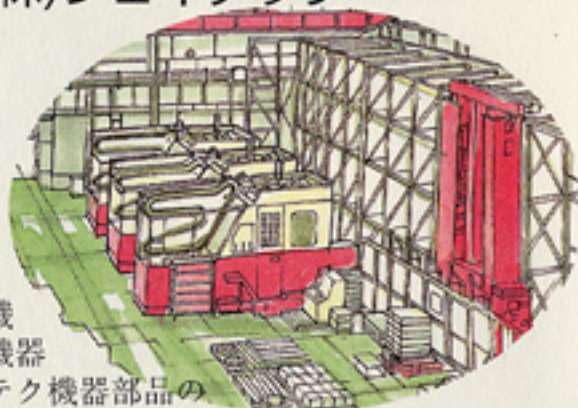


06 神戸熱処理工業(株)



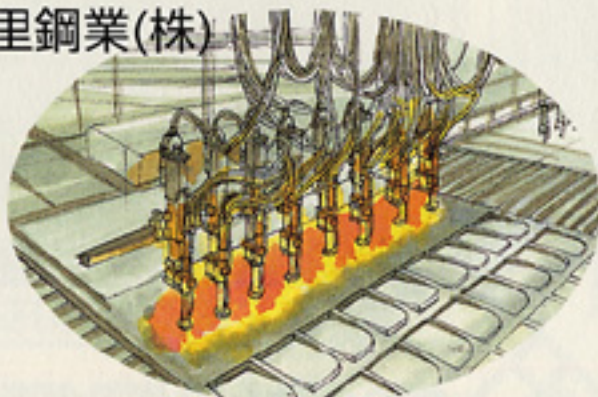
金属熱処理
(ガス浸炭焼入、
ガス軟窒化、
調質、無酸化焼入)

07 (株)ジェイテック



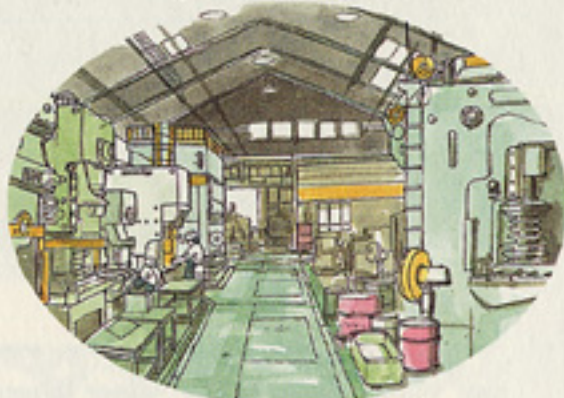
輸送機
油圧機器
ハイテク機器部品の
機械加工

08 下里鋼業(株)



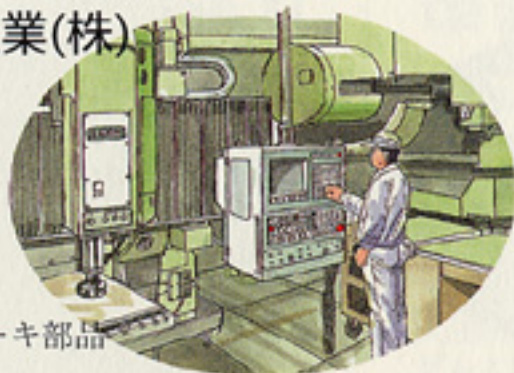
一般鋼材、岡部ベースバック販売
鋼板切断、形鋼切断

09 (有)伸興製作所



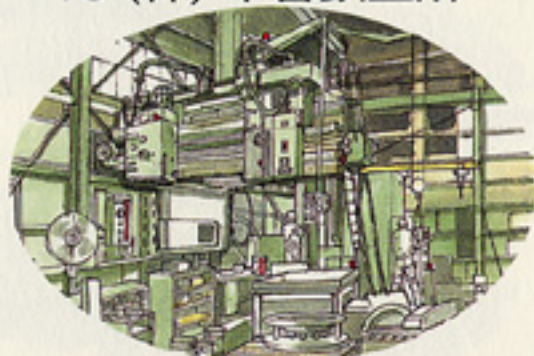
建設機器等部品製造、プレス加工

17 中村工業(株)



鉄道車両用ブレーキ部品
自動ドア部品
立体駐車場部品製造

16 (株) 中谷鉄工所



大型精密機器の加工

18 阪神機器(株)



新会社として、社会貢献の
ための業務を担っています。

建設機器部品製造
医療、産業用電子部品製造
バッテリーカー製作

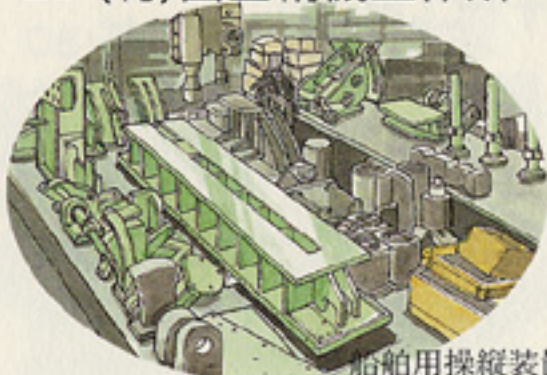
19(株) 福富工業所



車両、船舶用部品
精密機械加工

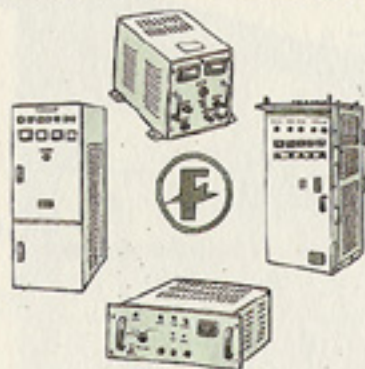
神戸鉄工団地

20 (有)富士精機工作所



船舶用操縦装置
精密機械加工

21 藤田電機工業(株)



電源機器、インバーター、
各種電子機器の設計、製作



22 (株)山本工務店



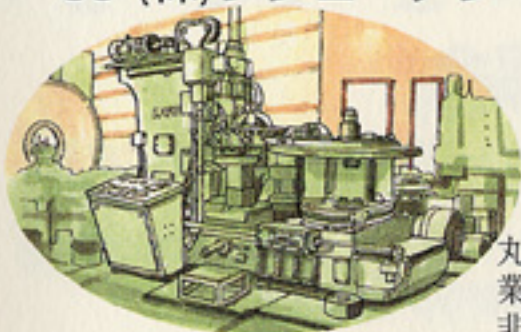
木造、鉄骨、建築一般
放電電極取付枠製造

23 松田内燃機(株)



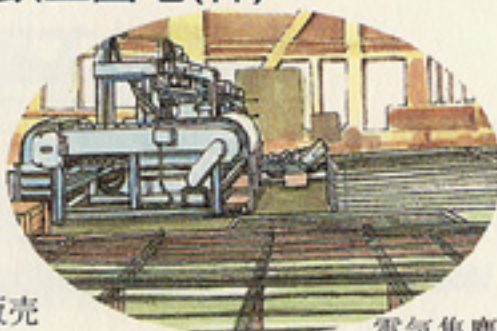
油圧シリンダー、自動ドア、エンジン装置製造
各種自動車、建設機械、船舶用エンジンのオーバーホール

30 (株)シンコーナン



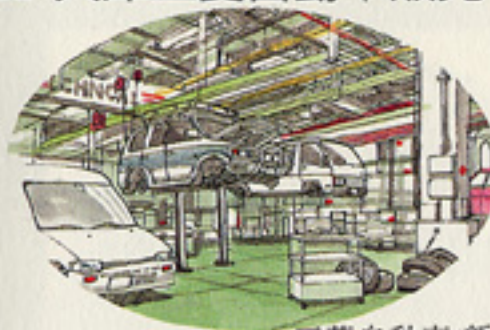
丸ノコ刃の製造
業務用節電器製造
非鉄金属分別装置販売

31 神戸鉄工団地(株)



電気集塵装置部品
の製造

29 兵庫三菱自動車販売(株)



三菱自動車(新車、中古車)
及び部品の販売、整備

28 (名)柳鑄造鉄工所

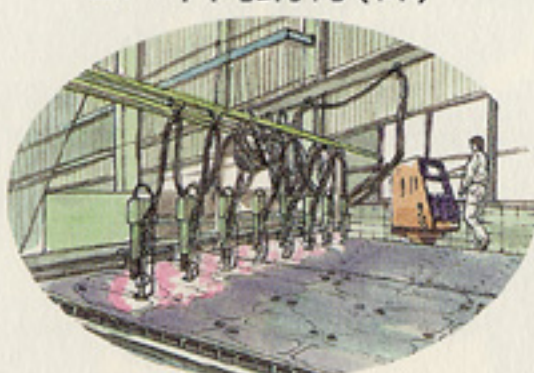


鉄鉄鑄物製造、はつり仕上げ加工
ショットブラスト加工仕上げ、機械加工

加盟各社紹介

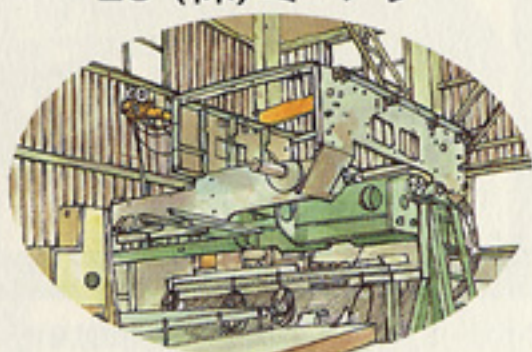
15	19	29
06		
23	04	05
24	06	25
	10	
17	14	21
		20
18	09	07
		03
01		
22	02	26
		11
		03
		31

27 本岡鋼材(株)



各種鋼材販売
ガス切断加工

26 (株)ミマタ



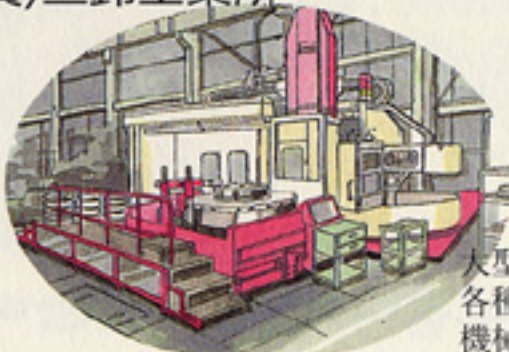
建設機械、機器シャーシー
船舶用空調装置製造
建設用構造体製造

24 (株)摩耶鉄工所



一般金属機械加工、各種産業用機械部品
建設機械用油圧シリンダー部品
鉄道車両用ブレーキ部品製造

25 (資)三鈴工業所



大型機械部品
各種産業機械部品の
機械加工および製造

神戸鉄工団地協同組合

神戸鉄工団地協同組合は、それぞれの工場で使う材料、電気をまとめて安く買ったり、共同で食堂や宿舎、駐車場、倉庫などを使って無駄を無くしているんだ。

また、団地内で働く人々に呼びかけ、献血をしたり、神戸の小学校や子供、老人の福祉施設に備品を贈ったりと、地域や社会の役に立つ活動もおこない、たくさんの表彰ももらったんだ。

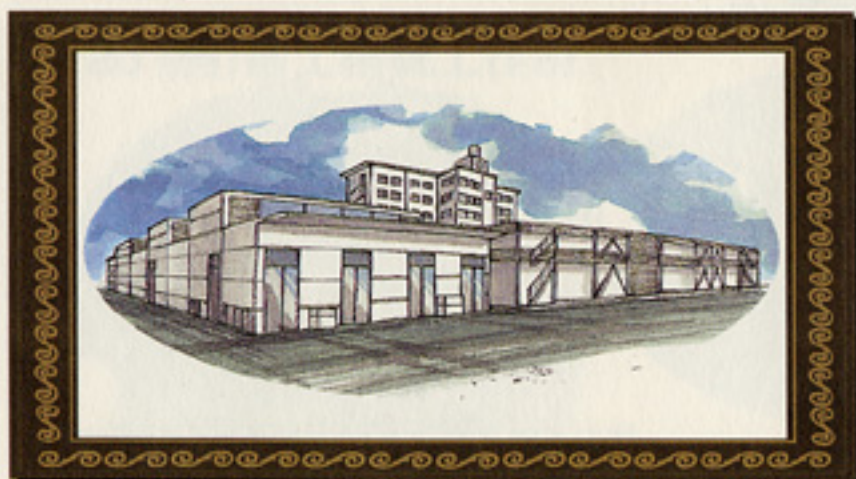
福祉センター

組合活動の中心になる建物がこの「福祉センター」だ。

ここには、組合の活動を支える職員の人たちの事務所をはじめ、300人もの人が入れる集会所や、会議室もあり、色々な行事や打ち合わせに使われている。また、喫茶室もあり、休憩時間にはおいしい飲み物も用意されている。



共同宿舎、共同食堂、共同駐車場



「共同宿舎」は、工場で働く若い人に住んでもらうための建物で、鉄筋4階建て、40の部屋数がある。

「共同食堂」は従業員ならだれでも利用できる大食堂。ここで働く人たちの健康を考え、おいしく、栄養のバランスのよい食事を食べさせてくれる。

通勤用バス

マイカーで通勤する人のために「共同駐車場」も準備してある



明石駅と神戸鉄工団地をつなぐ、みんなの「足」となるのが、この「通勤バス」だ。2台のバスはここで働く人たちを、朝も晩も安全に運んでくれるんだ。

神戸鉄工団地にできること

30の会社があつまって一つの団地。一つ一つの工場にできることは限界がありますが、それぞれの力を合わせると、たいていのことはできてしまう。

ここでは、そんな神戸鉄工団地の「総合力」を紹介しましょう。

加工

- ◆プレス、しぼり成形加工
最大厚板100mm 最小径600mm
最大幅10000mm 最大3000 t
自動板金加工機
- ◆切削加工
□800マシニングセンター
立体60面パレット NC旋盤背面加工機
NC自動盤 大型NCターニング
プラノミラー 全自動ホーニング盤
- ◆溶接加工
三次元プラズマ形鋼加工
ロボット 放電線自動溶接機
- ◆熱処理
ガス浸炭焼入 ガス軟窒化
調質 無酸化焼入れ
- ◆パンチング加工
N.C.Tパンチプレス
自動打抜き高速機
ベンディング・ロール
矯正レベラー
- ◆ショットブラスト加工

材料

- ◆鋳造
鉄鉄鋳物製造
- ◆溶断
NCTレーザー加工機

その他

- ◆修理
各種エンジン
建設用機械

設計

- ◆電気、電子装置部品設計
電子計測、測定機 変圧、整流器
無停電電源装置
- ◆機械設計
食品加工機械 建設、産業用機械
- ◆建築設計
一般住宅 業務用建築

組み立て

- ◆電源、計測機器
電気、電子装置
- ◆輸送機器
大型船舶用操縦装置
- ◆建設、設備
各種油圧、空圧シリンダー
ドアエンジン 立体駐車場
- ◆食品用機械
食品加工機械



神戸鉄工団地協同組合

〒651-2124 神戸市西区伊川谷町潤和字下近角789番地の1

TEL 078-974-1001

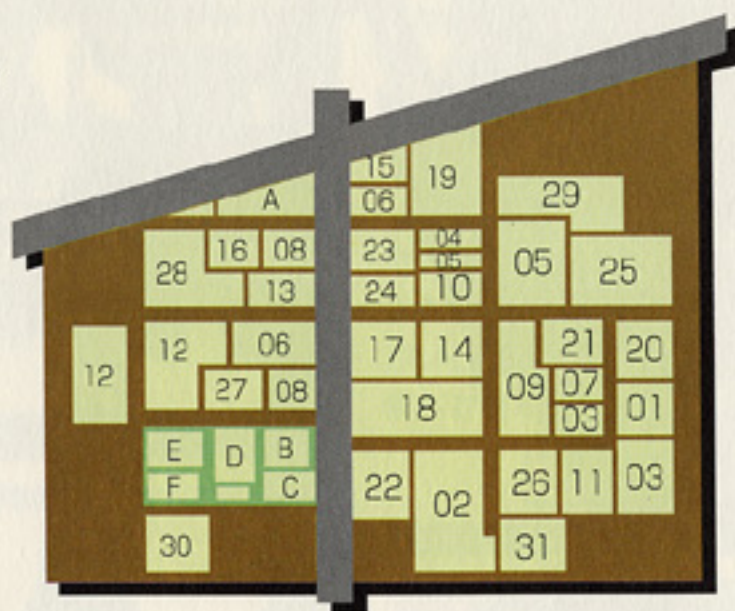
FAX 078-974-1003



- 01 有限会社 荒木製作所
- 02 淡路鉄工株式会社
- 03 株式会社 奥谷金網製作所
- 04 神平鉄工所
- 05 神戸造機株式会社
- 06 神戸熱処理工業株式会社
- 07 株式会社 ジェイテック
- 08 下里鋼業株式会社
- 09 有限会社 伸興製作所

- 10 則武精機株式会社
- 11 外浜工業株式会社
- 12 高千穂工業株式会社
- 13 株式会社 橋製作所
- 14 東王精機工業株式会社
- 15 東洋精機株式会社
- 16 株式会社 中谷鉄工所
- 17 中村工業株式会社
- 18 阪神機器株式会社
- 19 株式会社 福富工業所

- 20 有限会社 富士精機工作所
- 21 藤田電機工業株式会社
- 22 株式会社 山本工務店
- 23 松田内燃機株式会社
- 24 株式会社 摩耶鉄工所
- 25 合資会社 三鈴工業所
- 26 株式会社 ミマタ



- 27 本岡鋼材株式会社
- 28 合名会社 柳鑄造鉄工所
- 29 兵庫三菱自動車販売株式会社
- 30 株式会社 シンコーナン
- 31 神戸鉄工団地株式会社

- A 共同作業所
- B 福祉センター
- C 共同倉庫
- D 共同食堂
- E 共同駐車場
- F 共同宿舎

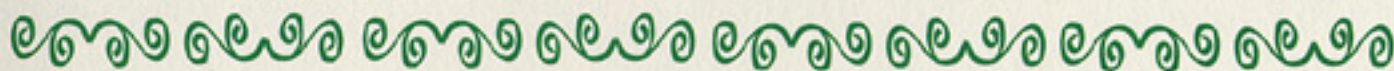


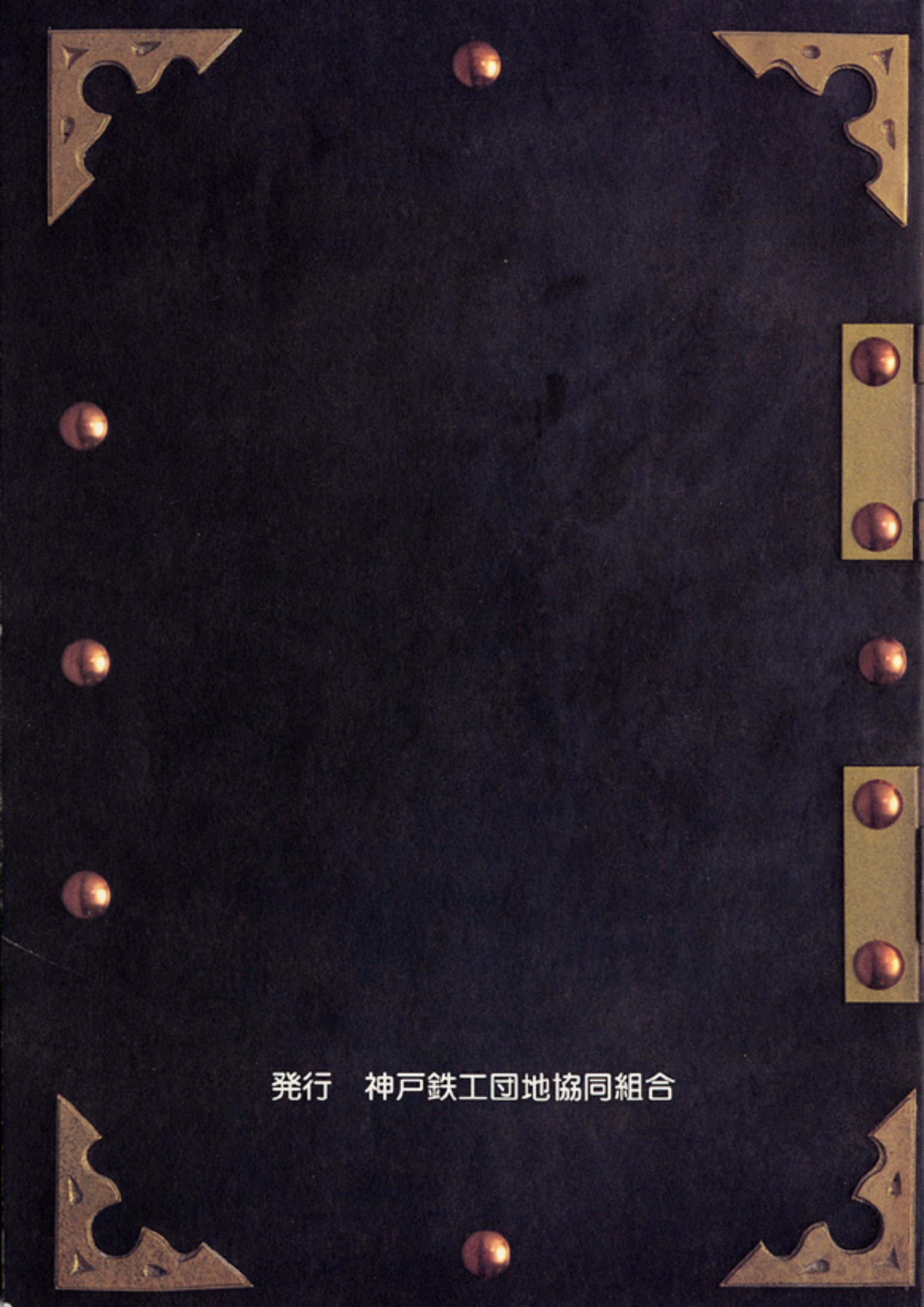
epilogue

これで私がしておきたかった話もそろそろ終わりです。
また、工具置き場にもどるとしましょう。

最後に、いかに科学や技術が進んでも、自分の手でものを
形作り、完成の喜びや充実感を味わうことができるのは
人間だけに与えられた特権です。

みなさん、もう一度「ものをつくる」ということについて
考えてみませんか。





発行 神戸鉄工団地協同組合